

■亀井南冥 儒学者。徂徠学を講じて朱子学を圧倒したため、〈寛政異学の禁〉の標的となり、失意の中、放火自殺した。

かめいなんめい

・・・・・・1741= 筑前生れ。村医亀井聴因の子。

徳川吉宗隠居1745= 4歳：

幼くして父の薫陶をうけ、

・・・・・・1750= 9歳：

徳川吉宗没・1751=10歳：

のち、徂徠学派の僧大潮・永富独唱庵に学んだ。

大武政治批判1759=18歳：

大岡忠光没・1760=19歳：

久留米藩工事1768=27歳：

田沼意次老中1772=31歳：

・・・・・・1777=36歳：

船蝦夷来 1778=37歳：_抜擢されて福岡藩儒員兼医員となり、

蘭学階梯・・1783=42歳：*藩校東・西学問稽古所が創設されると、西学甘栗館の総受持となって徂徠学を講じる。朱子学を講じた東学に対して西学に学ぶ者多く、東学を圧倒して行く。

田沼意次失脚1786=45歳：

異学の禁・・1790=49歳：*幕府の異学の禁があり、

ヲクサン来日・1792=51歳：*失行の故をもって職禄を奪われた。

松平定信引退1793=52歳：

写楽・・・・1795=54歳：

古事記伝・・1798=57歳：_西学甘栗館が類焼したのを機に西学は廃され、南冥門下の儒員は免ぜられて生徒は東学に合併され、

南冥は容状魁偉・志気豪放、経学・詩文ともにすぐれ、直言の人といわれ、その故に羨嫉をかい、異学の禁のあおりをうけて失意の境に至った。

いづり来航・1804=63歳：

浮世床・・・・1813=72歳：

黒住教・・・・1814=73歳：_居室に火を放って自殺した。

「肥後物語」「左伝講義」「南冥詩文集」。